

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-05-03
事務事業名	介護保険事業計画策定趣旨普及事業		
		根拠法令・要綱等	介護保険法
事業開始年度	平成12年度(実質平成11年10月)		
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目 施策	介護保険計画策定趣旨普及事業	
	問合せ先	担当課(室)	介護福祉課
		職・氏名	介護保険係長 玉野直美
		電話	64-1828

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	要介護・要支援認定者及びその家族、一般市民
目的(何のために)	今後さらに増加が見込まれるサービス利用者等のために、介護保険事業計画を策定し各年度の介護保険サービスの見込み等をたてるとともに、介護保険制度について市民への周知を図る。
行政活動(どのような方法で)	3年ごとの介護保険事業計画を策定するにあたり、委員会を開催し事業計画の策定と事業の進捗状況についての意見をいただく。 また、介護保険制度について広報、パンフレット等を活用し制度の周知を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	第3期介護保険事業計画(平成18～20年度)の成果を見極めつつ、団塊の世代が高齢期を迎える平成27年を見据え、その状況に対応できる第4期介護保険事業計画を策定する。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	策定委員会回数		回	5	1	1
	広報掲載回数		回	3	2	2
	パンフレットの種類		種	7	2	3
	制度普及の説明会		回	10	6	12
	事業費		千円			
	直接事業費			1,324	493	684
	人件費			11,153	2,970	712
	事業費計			12,477	3,463	1,396
	財源		千円			
国県支出金						
受益者負担						
市一般財源			12,477	3,463	1,396	
必要人員		人			0.09	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	策定委員会		説明	介護保険事業計画策定委員会の開催回数		
	結果指標量	回		5	1	1
	対前年比	%		-	20.0%	100.0%
	活動コスト	円		279,500	410,000	410,000
単位当たりコスト	円		55,900	410,000	410,000	
結果指標	制度普及の説明会		説明	制度普及の説明会の開催回数		
	結果指標量	人		10	20	24
	対前年比	%		-	200.0%	120.0%
	活動コスト	円		328,849	657,700	789,312
	単位当たりコスト	円		32,885	32,885	32,888

事業の成果			
成果指標名	制度普及の説明会	式又は説明	民生委員会・ケアマネージャーの集い等で制度普及のための説明会を実施した回数
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	10	20	24
対前年比	200.0%		
	120.0%		
到達目標値	30	到達目標年度	22

事業の目的、対象、内容を考えてから目的・意図性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)			
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	A		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識			
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	事業計画は3年毎の見直しに法律で定められており妥当である。			
<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している					
<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある					
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	事業計画は3年毎の見直しに法律で定められており妥当である。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の意図する成果				
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない				
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	効率性評価<A-E>			
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	B			
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	課題認識			
市の関与	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	制度の解説や事業の運営状況について、主に広報紙を活用してPRしているが、ホームページの充実も図っている。また、新規申請者については、支障なくサービス利用につなげられるようにパンフレットを配布して説明を行うなど、制度普及に係るコスト等の削減に努めている。			
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい				
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい				
コスト	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	有効性評価<A-E>			
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある			B	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない			課題認識	
手	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている	民生委員会及びケアマネージャーの集い等の機会を利用して、介護保険事業の実施状況及び制度の改正等についてのPR活動をおこない、地域の核となるような人に対して介護サービスが適切に利用されるように啓発活動を行っている。			
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある				
	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている				
職	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	有効性評価<A-E>			
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい			B	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われていない			課題認識	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	市民参画度			
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している			市民参画度	
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである				
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	市民参画度			
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している				
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している				
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	市民参画度			
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている				
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する				

平成20年度の状況		説明	今年度は第4期介護保険事業計画の策定にあたり、策定委員会にて現状把握と将来推計について適確な意見を聴取して事業計画の見直しを行う。 また、制度周知のために出前講座など積極的に一般市民への啓発を試みたい。
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	結果指標量	5
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		結果指標量
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		成果指標量	10.00

総合評価		評価区分<A-E>	B
今年度は平成18年度から平成20年度までの第3期介護保険計画の2年目であり、計画策定委員会開催は現状把握の1度のみとなった。 また、趣旨普及については広報による周知と啓発用パンフレット作成、制度普及の説明会などで制度の一部改正をとらえてPRをおこなった。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	介護保険事業計画の見直しのため策定委員会の開催回数を5回に増加する。	平成20年度	第4期介護保険事業計画の実施にあたり、策定委員会にて現状把握と将来推計について適確な意見が聴取できる。